

我が町再発見 彩の国21世紀郷土かるた大会



小川町大会を目指し真剣そのもの
(みどりが丘小でのかるた大会)

かわいい子どもたちの声で賑やかになる自治会館。楽しそうな雰囲気練習が始まります。「まが玉は、過去と未来の首飾り」と札を読み始めると、表情は真剣そのもの。じっと札を見つめ、「ハイッ」と札を取る音だけが響きます。静けさの中、子どもたちの一生懸命さが伝わってきます。「彩の国21世紀郷土かるた」は県下の小・中学生が調べた県の偉人や自然、歴史、特産物など、埼玉県の素晴らしいところが紹介されているかるたです。そのかるたを使って毎年大会が開かれます。楽しさの中にも、勝ちたい気持ちをいっぱいにして頑張っている子どもたちの姿に、エールを送りたいと思います。



「優勝目指し頑張るぞ。ファイト！みどりっ子」

みどりが丘地区子ども会連絡協議会 副会長 阿部佳代



議員 記者クラブ

シリーズ 安全・安心の主役たち②

町民の生命と財産 暮らしを守る

「小川消防団」

消防団は、明治20年に「消防組」として設置され、その後「警防団」、「消防団」と改名され、昭和46年の小川地区消防組合（現在は比企広域市町村圏組合）発足に伴い、新生「小川消防団」として組織されました。現在は2分団8部、団員127人で構成され、来年度からは、小川消防団初の女性団

員も8人加入する予定とのことです。

団員は、普段それぞれの仕事を持ちながら、自己意識や技術の研さんのための訓練を重ね、消防署の活動の補完をはじめ、災害時における救助活動や警戒巡視など、町民の生命と財産を守る活動を行なっています。今回は「団員になって感じていること」をインタビューしました。



Q 団員になって感じていることは

- ・わが町は自分たちで守るという意識が芽生えた
- ・人とのきずなが深まった
- ・消防団の位置づけを上げてほしい
- ・自営業者が少ない

- ・仲間や知り合いが増えた
- ・行事が多すぎる
- ・団員募集に苦慮している

- ・地域に貢献できる気持ちがうれしい
- ・職場の理解ありがたい
- ・地域の人に認めてほしい
- ・職場の理解が希薄

消防団活動は、自分自身のためになり、よかったという思いが多くあった反面、問題提起もありました。団のあり方について、行政・住民それぞれの立場から見つめ直す時期にあるように感じています。

もしものときは、皆さんが頼りです。団員にエールを送りたいと思います。

担当：小林・柴崎



編集後記

編集委員一同で試行錯誤、手にとって見てもらえる議会報を目指して改善を重ねています。一般質問は9人の議員が政策提言を行ないました。紙面をさらに充実させていきたい！

委員長 柳田多恵子

この広報は古紙を配合した紙を使用しています。

Ogawa No.62

小川町議会だより 62号

平成24年2月1日発行

発行：埼玉県小川町議会 編集：議会広報発行特別委員会

〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚55番地

TEL 0493-72-1221 FAX 0493-74-6877

<http://www.town.ogawa.saitama.jp/kurashi/gikaiinfo>

議会広報発行特別委員会

議長	松本 修三
委員長	柳田多恵子
副委員長	山口 勝士
委員	小林 一雄
委員	柴崎 勝
委員	大戸 久一
委員	高瀬 勉

議会を傍聴してみませんか

議会では町民の皆様の生活に直結した重要な問題が審議されています。ぜひ傍聴にお越しください。

次回定例会の開会予定は

3月1日(木)です